

連携ウォッチ

懐かしい昭和が満載・門司港 栄町銀天街昭和レトロ館

組合概要

組合名：門司港栄町商店街振興組合
理事長：大澤 幸雄
住 所：北九州市門司区栄町4番26号
T E L：093-321-8280



昭和レトロ館外観

昭和レトロ館の誕生

明治22年の開港と共に発展を遂げてきた門司港地区、北九州の海の玄関口として多くの商社や海運会社、官公庁が事務所を構えておりましたが、現在も当地では、往時の建築物が数多く残っています。

その門司港レトロ地区に程近い場所にある門司港栄町商店街には今も昭和の懐かしい雰囲気が残っています。

その雰囲気にマッチした施設として北九州市の支援を受け門司港栄町商店街に誕生したのが昭和レトロ館です。

平成21年10月から12月まで試験的に開設された時には1万人以上の来場者で賑わうなど商店街活性化に大きな期待が寄せられました。

そこで現在門司港栄町商店街振興組合では、平成23年3月27日まで期間限定で土・日・祝日に10:00～17:00の間、昭和レトロ館を開設しています。また、当施設の運営は北九州市立大学地域創生学群文学部社会学科のゼミ活動の一環として学生と連携して行われていて、その斬新かつフレッシュなアイデアが活かされています。

昭和レトロ館の内容

昭和レトロ館は、7つのスペースに分けられ

ており、昭和の茶の間を再現した懐かしい生活文化の展示や駄菓子の販売、施設奥の中庭では独楽回しをはじめとした昭和の遊びを体験できるイベントを行なっています。その中でも一番の見所は、月刊誌「少年」に連載されていた「ストップ!にいちゃん」や「少年No.1」で有名な地元門司港の出身の漫画家「関谷ひさし氏」の作業現場を再現しているスペースです。

そこから生まれた漫画作品の複製原画の展示、ここでしか買うことが出来ないオリジナルの絵はがきの販売を行うなど昭和をテーマにした品々の展示や販売を行っています。

その他にも週替わりで大正琴バンドの演奏会やJAZZライブなど様々な趣向を凝らしたイベントも行われています。



受付を行う北九州市立大学学生

今後の活動への期待

門司港レトロ地区は年間300万人の観光客が訪れる九州でも有数の観光地となっていますが、その観光客のほとんどは商店街まで足を伸ばすことがないのが現状であり、観光客を商店街に呼び込む目玉として昭和レトロ館をよりアピールしていくことが必要となっています。

今後は、この昭和レトロ館による波及効果で、商店街々区内でのソフト・ハード両面からの再整備が行われ、老若男女を問わず多くの来街者で賑わう商店街づくりが大いに期待されるものです。



週替わりで開催されるイベント